



復刊第104号  
題字 吉岡弥生

## 真夏日に思う

副会長 小俣喜久子

八月も残り少なくなりましたが、まだ真夏日が続いております。文明の利器を用いてもこのお暑さはどうにもなりません。会員の先生方にはいかがお過ごしでしょうか、いらいまいまいか、お伺い申し上げます。

八月十二日の日航機墜落事故は単独機として史上最大の犠牲者を出した墜落事故で、世界各国のトップニュースとしてあつかわれたようです。五百二十人の犠牲者の中に女子の医学学生の遭難を知りました時は、いっそう心が痛みました。併せて哀悼の意を表します。このような惨事を二度と起こさないためにはぜひ原因の徹底的究明を願ってやみません。

日本女医学会では去る五月の総会後、六月二十二日には新執行部の初顔合

わせが行なわれました。ついで酷暑の中を各担当部では今後の方針についてそれぞれ打ち合わせの会を開いておりますが、執行部はいよいよ新しい決意をもって新年度に対処する心積りであります。

現代の社会では同じ母国語を話し合う人間同志でも七〇%は通じないということがある雑誌にておりました。これは都合のよい解釈、単純な誤解、不信など、人さまさまな環境の中での話し合いの不備のためだといえます。これらの人々の情報コミュニケーションの七〇%を間違った方向に持つてゆくということでありました。

私どもは同じ職業をもっている会員同志であります。コミュニケーション

の行き違いなどあるとも思いますが、私どもにとってもっとも大切なことはお互いに信頼し合う人間関係をつくることだと思います。信頼し合った会員同志の中から選出された執行部でありましたら、一年に数回発刊される会誌を通して本部の運営状態もおわかりいただけると思えますし、また会員の声も温かく返ってくるものと思えます。何卒、会員の諸先生には今後ともいっそうのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

なお、昨年会場の都合で来たる十一月三十日に講演研修会を京王プラザホテルで開催されることとがすでにきまつております。

最近、医学は新しい発見が急速に進んでおります。体外受精、遺伝子、脳死等は在来の医療とは異なつたわゆる、S・Fの科学が事実となつた画期的な技術の進歩であります。今回の特別講演「宇宙医学の現状」も私どもにとつてはまだS・Fの科学の域を脱していないお話のように思われます。明日の生命に関する大きな問題の一齣として、聴講できるのではないかと興味とともに大いに期待いたしております。

何卒会員の諸先生にはお誘い合わせの上、ご来場くださいませ。

日中の真夏日にくらべ、朝夕は思いがけない涼風が頬を撫でてゆきまします。秋の訪れも間もないことと存じますが、先生がたのご健勝とご活躍を切にお祈り申し上げます。

## せむぎ

- 真夏日に思う……………小俣喜久子(1)  
 監事就任のご挨拶……………西山喜代子・山口三重・添田百枝(2)  
 学術研究助成研究経過報告  
 ヒト癌組織内におけるリンパ球および  
 マクロファージの動態と癌進展との関連  
 に関する病理学的研究……………田中 寿子(2)  
 支部だより

- 目黒・大田・品川合同三支部会を開いて……………氏原多満子(4)  
 神奈川支部の近況……………中濱 昌子(4)  
 衛生局長に就任して……………加藤 竺子(4)  
 科学万博に出務して……………相川 睦子(5)  
 津村順天堂茨城工場見学記……………小出つる子(5)  
 女医学会の将来を思う……………藤井 儔子(6)  
 昭和五十九年度日本女医学会会員学位取得者一覧表……………(3)  
 評議員および予備評議員名……………(7)  
 第31回日本女医学会定時総会のご案内……………(2)  
 学術講演研修会のご案内……………(1)  
 吉岡弥生賞推せんについて……………(5)  
 国際女医学会西太平洋地区会議のお知らせ……………(6)  
 理事会議事録……………(7)  
 常任理事会議事録……………(8)  
 会員動静……………(8)  
 編集後記……………(8)

## 学術講演研修会のご案内

日 時 昭和60年11月30日(土曜日) 15時より  
 会 場 新宿・京王プラザホテル  
 特別講演 「宇宙医学の現状」  
 中京大学体育学部・御手洗玄洋教授  
 吉岡賞受賞者講演 16時10分より  
 「糖尿病と妊娠」  
 東京女子医科大学・大森安恵教授  
 「感染症化学療法の問題」  
 東邦大学医学部・五島達智子教授  
 懇親会 17時30分より

# 監事就任のご挨拶

西山喜代子  
山口 三重  
添田 百枝

去る五月二十六日(日)役員選挙が行なわれ、新理事三十五名が誕生しました。

私も監事三名は再任されました。このたびの改選の結果、在任十八年間無欠席で、日本女医学会会長の重責を全うされ、現在の輝かしい日本女医学会の歩みを著実に発展に導かれた三神美和先生が後進に譲られ退任されました、山崎倫子先生が新会長に就任されました。今後のご指導力に期待したいと存じます。

昭和五十六年には新事務所もこの一等地に持つことができましたし、全国各大学、研究機関における日本

女医会会員に対して奨学金の設定など、実行しています。

また昨年には公許女医誕生百年を記念して、荻野吟子賞が設定されました。日本女医学会の業績は一步一步斯界にその地位を確立し、各セクションの理事一人一人が、多忙な時間をさいて集まり、審議し、一丸となつて実行しているわけでありませう。

私も監事三名は、その役を忠実に、誠実に果たしたいと努力いたします。理事各位はもちろんのこと、全国会員のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

## 第31回日本女医会定時総会のご案内

日時 昭和61年5月25日(日) 26日(月)  
場所 東京・新宿・京王プラザホテル  
総会・評議員会 5月25日(日) 本部執行  
講演会 演者未定  
懇親会 総会終了後  
観光 5月26日(月)  
都内名所廻り(バス)

\*詳細は後日ご案内申し上げます。

日本女医会東京都支部連合会会長 今野 信子

### 学術研究助成研究経過報告

#### ヒト癌組織内におけるリンパ球およびマクロファージの動態と癌進展との関連に関する病理学的研究

東京慈恵会医科大学附属研究部  
形態研究室

田中 寿子

悪性腫瘍に対する生体防御機構の一つとして免疫学的反応の重要性が広く認識されている。しかしヒト癌組織内におけるリンパ球の動態については最近研究が始められたところ

であり、リンパ球 subsets の動きについて十分な知見は未だ得られていない。ヒト乳癌組織内リンパ球 subsets, macrophage を免疫組織学的に検索し、定量的分析を加え、組織

型、病期との関連を検討した。  
材料と方法  
乳癌生検例 二十二例、良性病変七例を用い、試料の一部は連続新鮮凍結切片とし、他は通常のパラフィン切片とした。前者とリンパ球に対する単クローン抗体を用い、組織内リンパ球を検出した。また抗 Lysosome 抗体等を用い macrophage の検出を行なった。  
結果  
癌巣境界域、癌巣間質にはリンパ

図1. Correlation between Clinical Stages of Breast Cancer and Ratio of Suppressor T and Helper T Cells in the Stroma of Cancer Nests

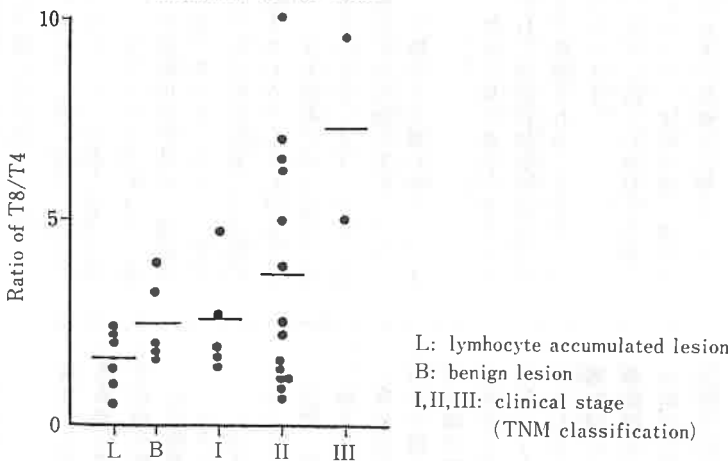
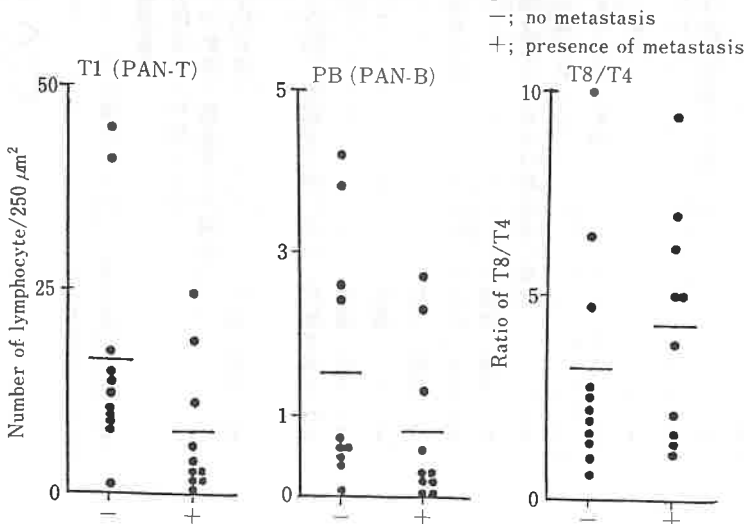


図2. Correlation between Existence of Metastasis and Number of T and B Cells in the Stroma among Cancer Nests



昭和59年度  
日本女医学会会員学位取得者一覧表  
(学術部) 60. 9. 28

支部	氏名	出身校	卒年	論文名
北海道	石田 君子	札幌医	昭55	家兎エンドトキシン血症におけるアミノ酸代謝の研究——とくに遊離アミノ酸の生体内動態について——
埼玉	川満 久恵	医科歯科大	昭50	抗ポリADP-リボース・モノクローナル抗体の認識部位の解析
〃	宮川 マリ	北海道大	昭52	多変量解析による東洋医学的証の客観性に関する検討と証の科学的パラメータの検索について
足立	金 恵媛	東女医	昭52	ウサギ眼組織からのslow reacting substance (SRS) の遊離について
江東	石川てる代	千葉大	昭53	絨毛癌の薬剤耐性に関する研究 ——In vitro における methotrexate 耐性細胞の特性——
品川	柿島八千代	東邦医	昭44	ゲンタマイシン Ca <sup>2+</sup> キレート作用——筋弛緩作用の検討——
〃	筋野 秀子	東女医	昭52	慢性肝疾患における Natural killer(NK) 活性に関する研究
新宿	佐藤 啓子	〃	昭51	心血管系手術におけるフェンタニール麻酔に関する研究——血漿レニン活性、アンギオテンシンII、アルドステロン、カテコールアミンの変動を指標として——
〃	宗像 秀子	〃	昭50	試作した眼科用超音波診断装置の性能検査と眼病変の検出率について
〃	八木 葉子	岩手医	昭50	難治性上室性頻拍性不整脈の外科治療としての房室離断法に関する実験的研究
世田谷	甲能 深雪	東女医	昭50	慢性腎不全患児における血中ケト酸動態に関する研究
中野	大井いく子	〃	昭50	糖尿病性網膜症における虹彩ルベオシス (1)糖尿病性網膜症における蛍光造影法による虹彩ルベオシスの観察——網膜光凝固術との関係—— (2)重症糖尿病性網膜症による出血性緑内障の治療
〃	大西 裕子	〃	昭49	家兎角膜上皮培養細胞の単純ヘルペスウイルス感染に及ぼすヒトインターフェロンβの効果
文京	武内ゆみ子	東京大	昭53	the generation of human / macrophage cell lines
目黒	芳賀 陽子	東女医	昭51	乳癌患者における細胞性免疫能に関する研究
神奈川	神野 順子	広島大	昭48	小児眼の眼軸長計測に関する研究 (第1報) 眼軸長構成因子の成長勾配 (第2報) 遠視眼における眼軸長構成因子の成長勾配 (第3報) 正視・遠視・近視の集団での眼軸長成長曲線の比較
愛知	原田 景子	東女医	昭49	網膜可溶性抗原の特性について 1. 新しい精製法 2. 抗原活性のELISA法による検討
長野	竹重 博子	〃	昭51	熱性痙攣の子後——臨床的・脳波学的検討—— 第一報 第二報
奈良	嶋 裕子	福島医	昭51	未熟児のプロトロンビン及び第Ⅸ因子に関する研究 第1報 プロトロンビン及び第Ⅸ因子の活性ならびに抗原量の推移 第Ⅱ報 プロトロンビン及び第Ⅸ因子の質的異常(PIVKA-II, PIVKA-IX)の検索
大阪3	福本 敏子	大阪医	昭50	ソフトコンタクトレンズ連続使用における角膜上皮細胞の形態学的研究
大阪10	西沢 恭子	阪大医	昭50	活性型エストロゲンレセプターを特異的に認識する細胞質因子の存在
〃	土方 康世	関西医	昭53	血漿遊離トリプトファン微量定量法に関する研究 第1編 遠心限外濾過法と高速液体クロマトグラフィ法を組み合わせた新しい血漿遊離トリプトファン微量定量法 第2編 血漿遊離トリプトファン微量定量法の検討とその臨床応用
岡山	大野 広子	東女医	昭53	近視性網脈絡膜萎縮症の電子顕微鏡的研究 第1報 脈絡膜の変化について 第2報 網膜色素上皮細胞の変化について
山口	縄田 孝子	山口大	昭51	大動脈根部心エコー図より求めた Atrial Filling Fraction について、特に心筋梗塞急性期の経日変化

全国医科大学76校に調査依頼し59校より回答あり、結果149名の学位取得者中13名の女医学会員があり、会員外の136名に入会のお誘いをし、11名の入会あり。

球浸潤が認められるが、Bリンパ球 (PB+) は乏しく、大部分は T<sub>H</sub>(pan T<sub>H</sub>) であり、その内 T<sub>H</sub>(suppressor T<sub>H</sub>) が優位であった。全般的に NK 細胞、macrophage はきわめて少なかった。各部位のリンパ球数測定結果では、良性病変部に比べ、癌巣境界域あるいは癌巣間質に局在するリンパ球の T<sub>H</sub>/PB+ 比および T<sub>H</sub>/T<sub>H</sub>(helper T<sub>H</sub>) 比が高い傾向がみられた(図1)。病期の進行に伴い各種 T 細胞数は減少し、一方 T<sub>H</sub>/T<sub>H</sub> 比が増加する傾向がみられた。癌巣間質内のリンパ球数と転移の有無の関連をみると、T および B 細胞は転移のある例では減少し、T<sub>H</sub>/T<sub>H</sub> 比が上昇する傾向が認められた(図2)。しかし癌巣境界域のリンパ球浸潤巣にはこのような関連は認められなかった。癌組織型と浸潤リンパ球数、subset との関連を調べたが、T<sub>H</sub>/T<sub>H</sub> 比が乳頭腺癌に比べ硬癌では高く、リンパ球浸潤を伴った髄様癌では T 細胞浸潤数が多いとともに、T<sub>H</sub>/T<sub>H</sub> 比が比較的低い傾向がみられた。

結語  
乳癌組織内リンパ球 subsets を免疫組織化学的に検索した。乳癌の病期進行度、転移の有無と癌巣間質リンパ球 subsets の動態との間には関連がみられ、進行度に伴って、T<sub>H</sub>/T<sub>H</sub> 比が上昇し、T<sub>H</sub> の絶対的減少が認められた。

支部 たより

目黒・大田・品川合同三支部会  
を開いて

長い猛暑もやっと去り、秋の雲が心を鎮めてくれるようになりました。今日この頃、少しは日本女医学会員の自覚を持って、このご報告が書けるような気がいたします。

目黒の浜田ナミコ先生、大田の大橋鎮子先生と私の三人が揃って、初めて経験する支部長であることから、三支部合同の会を持ち、お一人でも多い会合にしたいと思つたのでした。

八月二十四日午後五時からパシフィックホテルにて会員二十八名のご参加があり、その席には山崎倫子新会長をお招きし、会員との交流を持ちました。会はビュッフェスタイルでしたが、三テーブルと椅子席を用意し、落ちついた雰囲気醸し出すようにしました。大正十二年卒で今なお現役でお元気な徳永先生の乾杯で開会され、続いて新会長、八木常任理事、白橋常任理事、南雲理事、柴田洋子先生のご挨拶をいただきました。そして食事をとりながら、マイクをつぎつぎと廻し、全員一人残らずの方からの発言を頂戴いたしました。

先輩の先生方は、後輩の新会長に愛情をもって、物申すというふうで

品川支部 氏原多満子

あり、同輩、後輩の諸先生方は「日本女医学会とは」という大きな視野から要望を述べました。これに対して、山崎会長はひとりひとりの発言に熱心に耳を傾け、説明し、説得されていきました。

日本女医学会は任意団体でありますから、上からのプレッシャーを感じないで、会員が生きていきと明るく参加したいという希いのようなものが感じられました。もちろん下部組織の私たちが上層部のご努力に甘えるというものがあつてはいけなく、誇りある女医の集団に身を置いているという自覚を持ちたいものです。そのため、このように直接会長と自由な会話のできる機会を持つことが必要で、閉会后、皆さんから「良い会だった」と満足された言葉をいただきました。この事は主催した目黒支部長、大田支部長とともに、たいへんなよろこびであり、これから一年に一回はこの輪をあげるようなフランクな会を持ちたいと話合つたものでした。

終わりに、お暑い折の会合にご参加いただいた山崎会長をはじめ、各先生方に心からお礼を申し上げます。

神奈川支部の近況

神奈川支部 中濱 昌子

私はこのたび、浅学非才をも顧みず、神奈川支部長をお引き受けすることになりました。器ではございませぬが、幸いなことに本支部には、福永・川口・野中・稲生の四理事、稲葉・松岡前理事の各先生方がいらつしやいますので、ご助言をいただきながら、意義深い支部会運営に努めたいと存じております。

過日は、医師の自殺増加が報じられ、また、医師過剰時代、開業医離れが叫ばれている昨今、私たち女医に対する風当たりも強くなつてまいりましたが、こういう時こそお互いに援け合つて一人の落伍者も出ないように頑張らなければと存じます。

支部近況

支部会は、年に二回開催。

六月に支部総会(学術映画)

十一月に学術講演会

他、必要に応じて臨時総会開催。

事業部として

一、古典研究会 昭和四十九年三月に発足(野中前々支部長の時)

現在月一回第一土曜日午後一時半より五時迄。

講師 衣川舜子先生。

一、英語教室 昭和四十九年十二月に発足(稲生前支部長の時)。

現在は毎週水曜日午後三時半より

五時半まで。

講師 ミスター・ジェフ・ミラー (四人目)

この時間の前後を利用して、日頃診療で疑問を抱いた症例、珍しい体験例や、E・K・GやX・RAY等を持ちよつて、お互いに検討し合つたり勉強し合つたりしています。

一、神奈川県保険医協会主催の健康

衛生局長に就任して

福岡支部 加藤 笠子

日本女医学会が去る五月の第三十回総会で、山崎倫子先生を会長に、新役員陣容あらたにスタートされましたこと、心からお祝い申し上げます。また十八年の長きにわたり、会の充実発展にご尽力下さいました、前会長三神先生に厚く感謝申し上げます。

先生がますますのご健勝をお祈りいたします。

私どものように地方におりますと、心ならずも中央の動向にうとくなり

がちで、会誌を通して情報や全国のすうせいを伺い知るにすぎません。

新会長のご挨拶の中にもありました

教育講座に有志が演者として協力中です。

一、老人ホームの見学および慰問 三年前に小田原の長寿園を訪問しました。三年に一度くらいの割合で実施。

一、アフリカ難民救済として六十年四月に三千万円寄附いたしました。(稲生前支部長の時に決定)

一、核家族が増えた現在、若い母親や老人の相談指導を年一回、神奈川県立婦人会館(初代支部長故中村キヌ先生創設)にて行なうことを企画中です。よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

ように、これからはもつと、本部と支部のコミュニケーションを密にするよう努めたいと思います。

四月に思いがけず衛生局長の辞命をうけまして、全国ではじめての指定都市の女性局長とすること、心ならずもマスコミのスポットを浴びる結果となり、面はゆい思いをいたしました。それだけに責任の重さを痛感いたしております。

行政の主軸を荷負う局長ポストは、国政レベルはもちろんのこと、地方自治体でも女性がつくことが珍しいと言つことは、日本の社会がまだま

### 科学万博に出務して

世田谷支部 相川 睦子

だ男性主導の社会と言うことかも知れませんが。幸いなことに、保健公衆衛生の分野では多くの女医の先生方が活躍しておられ、頼もしい限りです。五十九年の全国保健所長会名簿をみますと、全国八百五十五の保健所の中で、百八十一名の女性所長のお名前がみられます。おそらく近い将来、日本の公衆衛生を支えてゆくのは女性のドクターでしめられるのではないかと思えます。保健、福祉、教育などの行政分野でも、もっと女性のドクターが活躍されることを期待してやみません。私どもの衛生局は福岡市の百万市民の健康に関する分野を広く統括しており、こども病院や市立病院などの地域医療をはじめ、各区に設置されている保健所を中心とした公衆衛生活動、対人保健サービス、環境六法に関する衛生活動や公害、環境保全などたいへん広範囲にわたる衛生行政なので、忙しさも想像以上です。ライフサイクルの延長、人口構造の変化、急速な高齢化社会の到来など、私どもの都市も多くの問題をかかえております。都市のかかえる困難性を克服しながら、多様化する市民のニーズに対応して、より健やかな市民の健康の保持増進を目指し、人生八十年、あるいは百年時代の衛生行政の推進に努力したいと夢をふくらませております。

日本女医会の諸先生の温かいご助言とご指導をお願いいたします。

四月二十八日ゴールデンウィークの幕開け、天気は快晴。日本女医会東京支部連合会会員として、科学万博の診療に出務いたしました。

混雑を予想して、二十九日担当の強口テルヨ先生と一緒に、一番電車で出かけました。会場北ゲートに着すると、案の定、何時間も前から並んでいたのか、いく重もの長蛇の列に圧倒されました。勤務者用の通路へ行くにも人をかきわけながらやつの思いで通過し、九時にプロムナード応急手当所(日本女医会担当の診療所)に着きました。あの行列の中には開場前から疲れはてた顔もみられ、先が思いやられ、嫌な予感をいだきながら周辺を眺めておりましたが、開場と同時に、走って順番を取る人たちが、あつという間に、目の前は入館館の行列ができ、次のパピリオンへ急ぐ人など慌しい光景でした。かつて映画や小説で私が知っていた華やかで、なごやかなロマンチックな博覧会風景はまったくみられず、あさましさを感ぜ、がっかりさせられました。応急手当所は十時から業務開始なので、少し時間があき、空いているオーストラリア館をのぞいてきました。

十時五分前に応急手当所に戻ってみると、利用者がつめかけており、白衣の着替えもそこそこに、仕事にかかりました。子供が圧倒的に多く、「気持が悪い」「頭が痛い」「熱がある」「嘔吐」「下痢」といった訴えが数十名訪れ、前日より症状があるのに薬をのませながら連れて来て悪くなったり、睡眠不足と長時間の車の道中で、乗物酔いから具合が悪くなったり、いずれも親がもう少し子供の事を考えてくれたら防げる症例ばかりでした。前日から車で来た若者のグループが、水戸の海岸で酒を飲んで夜明しし、腹痛、下痢、発熱でふらふらした十代の男が、女の子に付き添われてやって来た。女の子も疲れ果てベッドに顔を臥して、離れない。「せつかくだから見学して来なさい」というと、「一人で行ってもつまらない」との返事。学校も行っていないグループでした。転んで足をすりむいた幼児が小学生の姉に付き添われて来た。父親は見物に忙しかく、母親は疲れてレストランで待っているとのことでした。鼻出血の六十代の男性、血圧二二〇/一二〇で、現役の時治療を受けていたが、今は保険料を払うのが損だからあと一

### 吉岡弥生賞推せんについて

昭和61年吉岡弥生賞授賞の適格者を、本会理事、または支部長宛にご推せん下さるよう、お願いいたします。

締切期日・12月末日

- 提出書類
- 一、自筆履歴書
- 二、業績
- イ 医学に貢献した会員
- ロ 社会に貢献した会員
- 三、推せん理由

年で老人医療になるからそれまで我慢しているとのことでした。昼食を摂るひまもなく、診療終了時まで休む間もなく、働かされた私にとって、ただ呆れるばかりでした。

社会性を欠き、自己中心的で、科学を無視し、生活の科学を欠いた人たちにとって、科学万博とは、何だったのでしょうか。二十一世紀の科

### 津村順天堂茨城工場見学記

高知支部 小出つる子

五月二十七日総会後の一日、朝八時半京王プラザロビーに集合して、津村順天堂工場見学行に出発。会員への連絡と事前PRが不足だったので、出かけた会員は同伴者も入れて二十三名。はじめ八十名くらいの予約だったのに少なくて会社がちよっと悪い気持でしたが、少数の熱心な人の集まりでかえって和氣藹藹で、バスの二時間も退屈せず、私

が少し西薬のエフエドリンと漢方の麻黄(エフエドラシニカ)の関係を化学構造、副作用などの話をしていくうちに、あつというまに工場に着きました。広々とした環境のいい地に、明るくて立派な広い工場でした。工場の接待係の人々の礼儀正しさと万全のサービスに気をよくして、見学にかかりました。はじめ会議室で会社のアウトライ

ンと製薬方法の映画を観て、その後完全に近代化された製薬工場内や、コンピューター化された成分分析、原料の地方別の成分の違いのテストなど見学し、今回完成した動物実験による合剤の作用、副作用の完備したテストを見、外国(主として中国)から輸入された薬草保存用エアコン完備の大倉庫と薬草の標本を一つ一つ見学しました。

東洋一といわれている漢薬製造工場は、清潔で広大で、敷地内に薬品別に配列された薬草園を感心しながら歩きました。中国の上海で、広州で見学した薬草園ほど広大ではないけれど、よく管理された配列の美しい薬草園では勉強とともにいい散歩でした。

一応見学を終わって、「こんないい所、もつと会員がたくさん見せていただくといいわね」と稲生さんと話し「また次のチャンスには充分PRしてたくさん出かけるといいわね」と話しました。会議場で休息の時、女子医大元病理教授の今井三喜先生がいらして下さって、教授をやめてからこの顧問になっていきます。女医学会の皆様がいらして下さっているとのこと、お目にかかりたくて工場へ来ました、と逢いに来て下さって、思わぬ面会に一同大いに喜びました。

その後で記念写真を撮していただき、中食を牛久シャトーでご馳走になり、全員大満足でお土産もいただいて帰途につきました。帰りも各方

面へ戻る会員に一人一人に心くばりをしていただき、全員希望の時間に希望の所で降りしていただいて、いい勉強と、楽しいピクニック気分でした。

来年の日本女医学会総会の時はもつと早くから会員に周知しておく勉強になって良いと思います。

今回の周知の方法もおそらく不十分だったと考えられます。

また会員としては地方での総会の時などは総会後の一日や二日は観光の日があるのですから、在京の方でも観光のつもりで、月曜の一日を勉

### 女医学会の将来を思う

文京支部 藤井 儔子

私にとって、科学の進歩の素晴らしさをひしと身を感じたのは、人間が月に旅してまた地球へ戻ったニュースを目にした時であった。そして、試験管内で分割した授精卵がヒトの子宮内で個体発生して正常な人間が生まれ育つのをみた時は、科学者の貪欲さを感じた。

この時代にあつて、医学部の専門コースは私どもが三十余年前に勉強した時と同じく四年間である。新しい生理機能の解明、病態の解釈、治療の進歩等々あらゆる面からの情報

強の旅に出かけるのもいいのではないかとおすすめる次第です。

なお補足ですが、九州地方で漢方薬草を肥料にして野菜を作っている農家があり、野菜も立派でおいしいという報道がありました。津村順天堂では、煎剤に用いた薬草の残渣を無料で近くの農家に肥料としてプレゼントしていられるとのこと、そういった野菜の成育状況などのフォローもして知らせていただくことも、興味あることと思っております。

らである。数大学を纏めたブロックを作る。もちろん主たる地域の支部と連繋を持つ。また、広く関連領域を含めた専門別の会合を持つ。開業医も参加する。専門別の会での積極的交流は知識の吸収であり、知識を伝える事である。もちろん社会的に注目される内容としなければならぬ。日本女医学会学術研究助成金応募者(過去五回、のべ百二十二名)の研究内容は多彩でユニークなものが多く、国際的に通用するものもある。この人たちの大部分が先に述べた卒業後十年であり、素晴らしい活力を持っている。推測するに、教育関連機関で教育と診療研究に従事する女医の層は、この人々の十倍以上であり、今後ますます厚くなる。

先日、国際女医学会本部から届いた、各国国際連絡書記が頭に入れておくべき事といえるメモランダムの中の一つに、あなたの国の政府あるいは厚生省は女医に関連した事項―彼らの教育等、また女性や子供たちの健康に関する行政事項―に關し女医学会に相談しますか? という文がある。会員各自考えねばならない事である。

女医の活躍を社会的に認めてもらう起動力に女医学会がならなければならない。卒業の勉強が一段落した一集團のほとんどが、やがて開業し、地域医療に貢献する頃、教育関連機関では次の若い集團が育つ。両者にとつて寄りどころとなり、パイプ役でもある女医学会でありたい。総会の前夜なりに一つのテーマ(高度の学問のみを意味するものではない)につき、充分に討議し実りあるものとするなどはどうであろうか。医学という重い学問を背負ってゆくことは今後ますます一人の力の及ばぬ領域が増えると思うと同時に、広くても同じ方向に流れる者の足跡が有形・無形であれ、社会に残らなければならないと考える。

### 国際女医学会西太平洋地区会議のお知らせ

日時 一九八六年4月11日〜12日  
場所 台湾 台北 グランドホテル  
会員登録費 一五〇US\$  
同伴登録費 一〇〇US\$  
参加登録及び演題締切 一九八五年11月30日  
演題抄録締切 一九八五年12月31日

参加される方は、申し込み用紙が事務局にあります。

評議員および予備評議員名

Table listing members and candidates for the Japanese Women's Medical Association, organized by region (支部) and category (評議員, 予備評議員).

理事会議事録

日時 昭和60年6月22日

場所 日本女医学会 会議室

出席者 (敬称略)

- List of attendees including 山崎, 小俣, 久保田, 佐藤, 明石, 石原, 佐野, 野沢, 橋本, 平瀬, 福永, 丸山, 三好, 八木, 石川, 石津, 稲生, 井上, 鶴川, 川口, 小出, 南雲, 二村, 野中, 野本, 野呂, 橋川, 藤田, 三神, 添田, 西山, 山口.

欠席者 (敬称略)

- List of absentees including 白橋, 藤井, 大原, 小暮, 関口, 山本.

会長挨拶

山崎倫子

庶務報告

野沢常任理事 4月20日 理事会および会計監査を行なう。

4月26日 日本女医学会誌および役員立候補者一覧表発送

5月2日 日中医学協会募金委員会へ三神会長、丸山常任理事出席

5月10日 昭和59年度会務報告、年金パンフレット、会費請求書発送

5月14日 日中医学協会設立準備委員会へ小俣副会長出席

5月16日 庶務部会および選挙管理準備委員会開催

5月25日 日中医学協会総会へ三神会長出席 会計部会開催

5月26日 第30回定時総会開催 (東京・京王プラザホテル、出席二百四十名)

5月27日 津村順天堂茨城工場会 員有志見学 (参加者十八名)

その他 (1) 松山京子先生より吉岡弥生賞受賞の礼状と品物あり。 (2) 故立入節子先生、故上田はる先生、故林さく代先生および故川島フミ子先生のご遺族より香典の礼状あり。

(3) 荒川静子先生宅出火見舞に際し 礼状あり。

連絡事項 (1) 国立婦人教育会館より昭和六十年女性学講座の開催について主催/国立婦人教育会館 会場/国立婦人教育会館 期日/昭和六十年八月二十三日 ~二十五日

主題/性役割の流動化をめざして—実践と展望—

会計報告 丸山常任理事 四月、五月分別紙どおり報告 承認

議事 一、新役員職務分担について (1)各務 (庶務部) 久保田副会長、明石・野沢・三好常任理事、鶴川・南雲・二村理事。

(2) 佐藤副会長、石原・白橋常任理事、石津・川口・野中理事。

(3) 小俣副会長、佐野・平瀬常任理事、関口・野本・山本理事。

(4) 久保田副会長、八木常任理事、井上・小出・小暮・藤田理事。

(5) 国際連絡書記 藤井

(6) 吉岡弥生賞審査委員 (十名構成) 荒川 彼の任命については会長、副会長に一任。

(7) 学術研究助成選考委員 橋本・藤井・三神 彼の任命については会長、副会長に一任。

(8) 年金委員 (七名構成) 山崎・佐藤・福永・丸山・石原・白橋 あと一名選出。

(9) 荻野吟子賞審査委員 任命は会長、副会長に一任

(10) 日本女医の実態調査委員 山崎・小俣・石原・白橋・石津 川口・野中

(11) 国連NGO国内委員 佐野

(12) その他 (1) 日本文化協会光のプレゼント運

事、石川・稲生・橋川理事。

(学術部) 小俣副会長、橋本・藤井常任理事、大原・野呂・三神理事。

(事業部) 佐藤副会長、石原・白橋常任理事、石津・川口・野中理事。

(渉外部) 小俣副会長、佐野・平瀬常任理事、関口・野本・山本理事。

(広報部) 久保田副会長、八木常任理事、井上・小出・小暮・藤田理事。

(2) 国際連絡書記 藤井

(3) 吉岡弥生賞審査委員 (十名構成) 荒川 彼の任命については会長、副会長に一任。

(4) 学術研究助成選考委員 橋本・藤井・三神 彼の任命については会長、副会長に一任。

(5) 年金委員 (七名構成) 山崎・佐藤・福永・丸山・石原・白橋 あと一名選出。

(6) 荻野吟子賞審査委員 任命は会長、副会長に一任

(7) 日本女医の実態調査委員 山崎・小俣・石原・白橋・石津 川口・野中

(8) 国連NGO国内委員 佐野

(9) その他 (1) 日本文化協会光のプレゼント運



動委員会より寄付拠出金の依頼について

挙手の結果、例年どおり一万円拠出し今後については検討。

(2)世界身体障害芸術家協会より絵はがきおよびハンカチの注文依頼について

挙手の結果、例年どおり五千元拠出し今後については検討。

(3)総会記念品の風呂敷およびポストスケールについて

残品を希望者に、風呂敷：九百五十円、ポストスケール：五百四十円で販売する。発送の場合送料実費。

(4)昭和六十年年度役員会開催予定日について

〈常任理事会〉

昭和六十年 七月二十七日、十月二十六日、十二月二十一日。

昭和六十一年 二月二十二日。

〈理事会〉

昭和六十年 九月二十八日、十一月三十日(學術研修会)。

昭和六十一年 一月二十五日、三月二十二日、四月二十六日。

\*昭和六十年八月と昭和六十一年五月は休会、ただし昭和六十一年五月二十五日は定時総会。

(5)事務職員ボーナスの件  
基本給の二・三カ月分支給  
以上

副会長(庶務担当)久保田  
庶務部 明石、野沢、三好

常任理事会議事録

日時 昭和60年7月27日

場所 日本女医学会 会議室

出席者(敬称略)

小俣、久保田、佐藤、明石、石原、白橋、野沢、橋本、平瀬、福永、藤井、丸山、三好、八木

欠席者(敬称略)

山崎、佐野

副会長挨拶

小俣喜久子

庶務報告

野沢常任理事

6月20日 国連NGO国内委員会に山崎会長出席

日中医学協会設立準備委員会へ小俣副会長出席

6月22日 理事会開催

6月26日 厚生省へ昭和五十九年度会務報告および事業報告、会計監査報告、定時総会議事録、役員名簿、役員就任承諾書、役員履歴書を提出

6月27日 事業部会開催

6月28日 広報部会開催

7月1日 国際婦人年連絡会へ野本理事出席

7月4日 各関係団体へ会長就任挨拶状発送

7月8日 国連NGO国内委員会総会へ佐野常任理事出席

7月9日 渉外部会開催

7月14日 学術部会開催

7月18日 役員登記を完了し謄本

を厚生省へ提出。

広報部会開催

7月19日 国連NGO国内委員会セミナーへ佐野常任理事出席

その他

(1)世界身体障害芸術家協会より支援の礼状あり。

(2)故立入節子先生ご遺族より香典の礼状あり。

(3)医師国家試験合格者へ当会入会のお誘いをする(六百二十八名)

連絡事項

(1)大学婦人協会より85全国セミナー開催について

日時/昭和六十年九月二十八日

二十九日

場所/国立婦人教育会館

テーマ/国連婦人の十年の評価と展望

(2)内閣総理大臣官房参事官および東京都より西暦二千年に向けての全国会議——「国連婦人の十年」最終年——の開催について

主催/婦人問題企画推進本部

日時/昭和六十年十月十四日

場所/九段会館

会計報告

六月分別紙どおり報告——承認

副会長(庶務担当)久保田

庶務部 明石、野沢、三好

会員動静

入会会員(敬称略)

千葉支部 三橋麗子(横浜市大)

島根支部 石原 京(東女医)

佐賀支部 太田記代子(久留米大)

沖田泰子(久留米大)

坂田美緒子(日本医大)

平野知子(川崎医)

新卒入会会員(敬称略)

荒川支部 濱中美裕紀(東女医)

北支部 安山雅子(東女医)

新宿支部 後藤珠代(東女医)

横内載子(東女医)

中野支部 村上典子(東女医)

東女医学内支部

満尾玲子(東女医)

神奈川支部 竹内香織(東女医)

福井支部 安川ひろ美(東女医)

集記



新執行部ができてから、早二回目の会誌発刊となりました。

巻頭言の小俣副会長の言葉に、同感です。同じ職業を持つ会員同志がお互いに信頼しあつてこそ、日本女医学会の和が、大きく広がり、発展につながるのだと思います。

百八十四日間、二十一世紀への夢を演出した、科学万博も幕を閉じ、応急手当所に参加下さった、多くの先生方、本当にご苦勞様でした。「会員の消息」の欄に、叙勲を受

けられた会員の、お名前と略歴を、

物故会員(敬称略)

秋田支部 若松マサ

昭60・6

埼玉支部 林 さく代

昭60・2・26

大田支部 岡 正子

昭60・6・12

世田谷支部 柳瀬路子

昭60・5・23

富山支部 鶴淵ふみ

昭60・4・27

兵庫支部 立入節子

昭60・5・2

福岡支部 川島フミ子

昭60・8・22

お知らせいただきたいと思ひます。マグニチュード八・一の、メキシコ大地震の被害状況を新聞、テレビで見ると、地震の果の上にあつて、いつおきても不思議ではない、東海地震にそなえて、良き教訓にしていきましよう。(井上)

昭和60年10月20日 印刷

昭和60年10月25日 発行

編集人 八 木 貞 子

発行人 日 本 女 医 会

発行所 東京都渋谷区渋谷2-1-7 青山宮野ビル

社団法人 日本女医学会

TEL(498)〇五七一

制作 東京都文京区水道1-5-16(815)六四二五

株式会社 金剛出版